

大女子き♡ くすの木さん

くすのきの歴史
・ぎおん祭 編

「くすのきさん」新聞
NO. 2

東大淀小
夏休み新聞教室
参加者



重くて大変だったけど、休けい場所でもらうアイスやジュースが、すごくおいしかったです。

夏休み新聞教室のメンバー5人が、台風で一日おくれとなった7月29日、東大淀のぎおん祭に参加しました。午前中は時々雨がふっていましたが、山車が発する4時頃には、青空も見えてきました。



先頭でつなをひきました。

見て楽しい参加して
もっと楽しいぎおん祭♪

山車は町民会館を出発して町内をまわり、町民会館にもどってきます。山車に近いところのつなはおとなが持ち、先頭は子どもが持つてひきました。山車の前をまんどへちようちん(や五色の旗、花がさ、のぼりなど)を持った人が歩きます。カーブでは人の力で山車の向きを調節し、まがり角では、ぬれた竹を使って山車を回転させて調節して行きました。



町民会館の西がわで二番をうたう

『伊勢市史』を参考にしたりじつさいに参考にしてたしかめたりして、山車の道すじやうた上げの場所を地図にまよめました。うた上げは一番から十番まで歌詞があり、それぞれきまった場所とまわるときにうたいます。

受けつがれる ぎおん祭

元町会長の藤原幸隆さんにぎおん祭についてお話を聞きました。

藤原さんによると、ぎおん祭は昔は「天王さん」とよばれていて、農業や漁業の発展、人々の安全を願って行われていたそうです。



ぎおん祭の山車は高さ約5メートルで名古屋でつくられたそうです。上段には天王さんが乗っ



⑥は「学べはげめよ」学問どころ

① 町民会館	⑥ 学校前
② 町民会館西端	⑦ 九郎助前
③ 竜宮前	⑧ 山の神前
④ 小林さん宅前	⑨ 浜彦前
⑤ 佐登奈加神社前	⑩ 町民会館前



藤原さんといっしょに。

ていて、その下の段には女性のからくり人形(あやつり人形)が乗っています。ぎおん祭は前は青年会の人たちがやっていたのですが、48年前からは町会がしています。私は伝統が受けつがれていくのはよいことだと思いました。

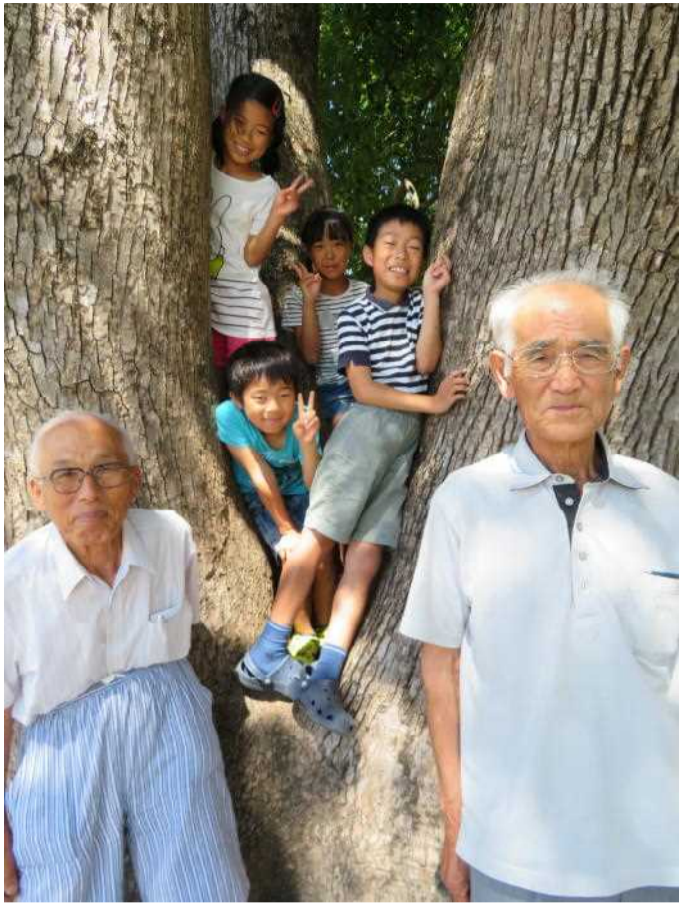
くすのきさん・植えてから106年 神社のさかい目に3本の木



ふうの木はめずらしい木だそうです。

東大淀の北村 暁さん、西村定八さんにくすのきさんの歴史について聞きました。北村さんによると明治35年生まれの北村さんのお母さんが子どものころ、神社とのさかい目

として、西側に向かって、くすの木↓ふうの木↓松の木と、三本の木が植えられていたそうです。松の木には、昭和12〜13年ごろカミナリが落ちたそうです。ふうの木は、昭和25年ごろ、野球をするのにじやまだったことから切られたらしいです。平成19年の回覧板によると、現在のくすの木は、大正元年に指の太さの苗を山井教頭先生が植えたと出て



くすのきさんに登って北村さん・西村さんと。

いきました。今年で植えてから106年ということになります。くすのきさんには深い歴史があると思いました。

村松にもぎおん祭

ぎおん祭は東大淀だけでなく、となりの村松町や明和町の山大淀・中大淀にもあるそうです。ぼくが参加した村松では天王祭と言っています。東大淀と同じように町会から出て、発して村松を一周しました。ちがうのは、夜に光るブレスレットが配られたことです。つなの太さは東大淀より少し太いようです。

平成12年・山中連に小中学生入る 平成28年からは女子も

山中連は山車の中でおはやしをえんそうします。おはやしは山車をひくときにえんそうする「新ばやし」と、特定の場所です。と、ときにえんそうする「地ばやし」があります。平成12年から、

小中高生・息をあわせて！ ぎおん祭に向けて「大ならし」開催



ぎおん祭に向けて、7月26日、町民会館で大ならしが行われました。山中連の小中高生が新ばやしや地ばやしをえんそうし、本番と同じように一番から十番までうた上げが行われ、笛はむずかしく、だいたいが、みんな息やかけ声があつていてとてもいい音がしていました。三味線やたいこの人たちはさつと動いて交代していました。女子は、ゆかたも自分で着たのがすごいと思いました。小6で笛をはじめた中2の竹内げんとさんは「笛は音を出すことがむずかしい。最初は息をふきかけてもなかなか音が出なかった。」と話していました。



本番でえんそうするげんとさん

記者からひと言

○大ならしをじつさいに見るのははじめてで、とてもいいけいけんになりました。(しゅんた) ○山車を引っぱるのは重くてたいへんだったけど、さいごまでがんばりました。(ととみ) ○記事を書いてつかれたけど、楽しかったです。(ほろき) ○新聞作りは2回目なので記事は書きやすかったです。実際に参加するとすごくよくわかりました。(なつき) ○のぼりを持って手がいたくなかったけど、楽しかったです。(ひむか) ○ぎおん祭は楽しかったのですが、また参加したいです。(ひなり) ○取材であまり話せなかったのですが、またチャレンジしたいです。(ゆづき)